

1. 8/20～30、SL 社にて5000人の大規模ストライキ

アジアで最も規模の大きい縫製工場のうちのひとつ、SL2 縫製工場では、8/13から労働者 4000 人がストライキを行っており、8/20、さらに 1000 人の労働者が参加した。彼らの要求しているのは、工場が株主である人物と一切手をさることなどを含め、全 9 項目だ。カンボジアアパレル労働者組合連盟(C.CAWDU)の代表 Suth Seam 氏は、「私たちが求めているのは、最低賃金 150ドルと、食事代 3ドル、そして株主である Meas Sotha 氏を会社が排除することです」と話す。C.CAWDU に加入している SL の労働者達は、「軍警察を工場内に配置させた Sotha 氏の命令は、労働者を抑圧するものである」と訴えている。Sotha 氏とSL2のマネージャーである Chhin Sao 氏は、「労働組合員が労働者に対して、ストライキをすることを無理やり強要している。労働者たちはストライキをするといった予告を全くせずにストライキをしています。これは違法です」と言う。



そんな最中、会社の経営側と 5000 人以上の労働者を代表するメンバーが交渉を行なったが、何ら進展は得られなかった。それに対して、社会問題相は、労働者達が仕事に工場を抜け出したという事態を受けて、SL 社とカンボジアアパレル労働者民主組合連盟が落ち着いて会合を行えるようにと、9 日間にわたる会合の場を設けた。しかしまだ解決には至っておらず、社会問題相内のストライキを扱う委員会に所属している、Vong Sovann 氏は、「今回のケースは、会社側が解決を裁判所に委ねようとしているのと反対に、労働者側は会社との話し合いによってのみ解決を導こうとしています。これは難しい問題です」と語る。



またカンボジア縫製業協会事務局長の Ken Loo 氏は、「労働者側が工場に対してストライキをやる旨を事前に通達していなかったため、今回のストライキは違法である」、とも話している。8/25には進展のない会社側との交渉に揉めた労働者と組合代表は、「プノンペンにある社会問題相オフィスとシティホールの前で6000人規模のデモを行う」、と予告し、その予告通り4000人規模の縫製業労働者達は、自分たちの要求を叫びながら社会問題相までの道のりでデモを行なった。しかし特に成果を得ることは出来なかった。交渉に出席していた C.CAWDU 代表の Ath Thorn 氏は、「結局なんの取引も出来なかった。もし

社会問題相が労働者達に手を貸してくれないのであれば、このストライキは首都全域に広がることになるでしょう」と話している。それでも8/30、アジアで最も規模の大きな縫製工場のひとつ SL 社で行われていた今回のストライキは、2 週間以上続いたものの、ようやく終わりを迎えることになった。SL 社の株主 Meas Sotha 氏と、労働者を代表する C.CAWDU の Kong Athit 氏は、8/29、6000 人以上の労働者達が自分達の持ち場に戻ることを確認しあった。労働者達が仕事に戻るとい今回の決定は、C.CAWDU と SL 経営陣、そしてプノンペン裁判所の間で行われたミーティングのなかで出されたものだ。政府は SL 社に対して Sotha 氏と手を切るように命令をした。Sotha 氏は昨日の夜、「自分が解雇されたという情報を一切知らなかった」、と述べた。

2. 8/23、Next-t Apparel 社にてストライキ

プノンペン Dangkor の地区の Next-t Apparel 社では、約 1000 人の労働者が職場を抜け出した。2 週間ほど前、近くの工場に勤務している 2 人の労働者が、SL 社のストライキに参加する人たちの為、お金を集めて飲料水を購入していたが、それを知った会社が彼らを解雇していた。これが今回のストライキを引き金となった。21 歳の Yin Phanna さんは、「私は SL 工場でストライキを行なっている人たちに水を支援するため、お金を寄付してくれるようにと紙に書いて同僚達に渡していました。しかし会社の役員がその紙切れを見つけたのです」と話す。彼女は 23 歳の Chan Srey Mom さんとともに会社を解雇された。「会社は私達に、無理やり解雇通知にサインさせたのです」と彼は Yin Phanna さんは話す。8/22、工場経営者は、解雇した 2 人を再び働かせることに同意したが、労働者達が同時に要求していた他 12 項目に関しては拒否している。Next-t 社の労働者達は引き続きデモ活動を行う予定である。

3. 賃上げの行方

野党が総選挙結果に対して異議を唱え続けているので、政府は総選挙後 2 回目となる賃金に関するの発表を行い、

「衣料品や靴の製造に携わっている労働者達の最低賃金を上げるための委員会を発足させた」と語った。先月の総選挙後すぐに発表された公務員の賃金引き上げに続いて、社会問題相の Vong Sovann 氏は、「労働者達の生活コストを調査した上で縫製業関係の労働者についても賃金を引き上げたい。調査を終えるまでは、賃上げ額がいくらになるかはつきりとは述べることは出来ません。しかし上がることは確実でしょう」と話している。彼の所属する「ストライキとデモへの対処委員会」は、「今回の調査には政府や労働組合、カンボジア縫製業協会の協力が必要です。調査は完了まで3~4ヶ月かかるでしょう。しかし2014年には賃金を引き上げることを目標としています」と発表している。National Union Alliance Chamber of Cambodia(NACC)の代表 Som Aun 氏は、「来月には話し合いを行いたい。

NACCは、これから5年間で最高200ドルまで最低賃金を上げたい。おそらく来年中に20~30ドル引き上げることは可能だと思います。しかし、新しい委員会に全員が参加できるわけではないので、それが不満です」と話している。政府は Rong Chhun 氏代表のカンボジア労働組合連盟を正式に認めているわけではないので、彼はこの委員会からは一歩距離を置くこととなる。「賃上げを求める委員会が発足されたことについて驚かされていますが、彼らを応援したい気持ちです。なるべく早く、月の賃金を150ドルまで引き上げたいものです」と彼は言い、建設業やビール製造、家事手伝いやサービス業、すべての人々が同等に支払われるべきである」と付け加えた。

カンボジアアパレル労働者民主組合連盟の副代表である Kong Athit 氏は、「私自身も委員会への招待を受けていない。この発表はカンボジア救国党のデモに参加する気である労働者達をなだめるためのものだろう」と主張する。

野党は、「もし自分たちが選挙に勝利をすれば、最低賃金を150ドルまで引き上げる」と発表をしていた。

4. カンボジアの人口が1,500万人近くまで上昇

計画省が8/15に発表した人口統計によると、カンボジアの人口がついに1400万人を超えた。しかしながら、カンボジアの2013年人口中間調査によると、人口の増加率はこれまでに比べると低い方で、また都市に暮らす人々の割合が増え続けているという。2008年、都市に住んでいたのは人口の19.5%であったが、今年は21.4%になっている。国連人口基金の Marc Derveeuw 氏は、「原因として出生率の低下もありますが、それよりも大きいのは移民の問題でしょう」と話す。カンボジアの人口増加率1.46%というのは、隣国と比べ高い数値だ。タイとベトナムがそれぞれ0.5%と1.0%で、東南アジア平均が1.1%である。しかし、それでも2008年と比べると増加率は低下しているという。また、国の成長率は1.54%だ。計画省の Hang Lina 氏は、公表された統計が一体どういう結果につながるのかまだはつきりとはわからないという。また、出生率や小児死亡率、移民問題や教育、被雇用者の実態や世帯状況などに関するのこり14もの項目に関するレポートも、すぐに発表される予定だと話している。

5. 最近の外資の進出情報

・みずほ、カンボジア拠点の2行と提携

9/06、みずほ銀行は、日系企業の進出支援体制を拡充するため、カンボジアを拠点とする二つの銀行と業務協力の覚書を交換したと発表した。

・クボタ、タイのバイクローン会社と提携し、カンボジア事業展開

9/05、クボタのタイ現地法人「サイアム・クボタ・コーポレーション」(中部パトゥムタニ県ナワナコン工業団地)と、タイ証券取引所(SET)に上場するバイクローン専門会社「グループ・リース(GL)」は、カンボジアの農業機械ローンに関する協力覚書(MOU)を締結した。クボタは来年1月、プノンペンに農業機械の販売会社を設立する予定で、GLが販売協力する。

・三井住友銀、カンボジア最大手銀行に行員常駐

9/12、三井住友銀行は、カンボジア最大手のアクレダ銀行(本社プノンペン)に三井住友銀行員を常駐させると発表。12年8月に結んだ業務提携の一環で、同国に進出する日系企業の支援を強化するのが狙い。

・タイのサハグループのタイガー、ミャンマーに合弁会社設立

9/11、タイの小売り・日用品大手サハグループの物流会社「タイガー・ディストリビューション・アンド・ロジスティックス」は、ミャンマーの地元企業と共同でロジスティックス事業の合弁会社を設立。サハグループが整備する工業団地内に物流センターの設置を検討する。

・タイの長距離バス会社、カンボジアなど周辺国への国際線拡充

9/12、タイ民間長距離バス会社「ナコンチャイエア(NCA)」は、カンボジアなど周辺4カ国への国際線を開設する。約10億バーツを投資する。各国の地元企業と共同で、路線網の拡充に取り組んでいく方針だ。NCAは、まずカンボジア路線を開設し、その後、ラオス、ミャンマー、ベトナムに広げていく考え。

6. カンボジア 国民議会選挙 ~後半~

選挙当日、大きな混乱もなく選挙は進んだかに見えた。しかしプノンペン地区の Stung Meanchey 地区では、無記名投票の詐称への疑惑等から一部の群衆が暴徒化し、軍警察車両 2 台が倒され、投石、そして放火されると言う事件が起こった。その日の夜は、プノンペン市内は静まり返っていたが、ガソリン確保の為、一部ガソリンスタンドには列ができた。

即日の選挙結果速報値は、下記の通りとなり、カンボジア人民

| Provisional Election Results by Provinces (TVK/NEC) | | | |
|---|------------------|------------------|-----------|
| Provinces/Municipality | CPP | CNRP | Balance |
| B. Meanchey | 113,067 | 43,043 | (70,024) |
| K.Cham | 102,468 | 137,994 | 35,526 |
| K.Chhnang | 35,085 | 28,567 | (6,518) |
| K. Speu | 100,112 | 100,346 | 234 |
| K.Thom | 87,306 | 79,457 | (7,849) |
| Kampot | 117,181 | 101,335 | (15,846) |
| Kandal | 259,454 | 362,221 | 102,767 |
| Kohkong | 28,632 | 11,017 | (17,615) |
| Kratie | 69,520 | 59,477 | (10,043) |
| Mondulkiri | 15,786 | 3,951 | (11,835) |
| Preah Vihear | 27,430 | 10,317 | (17,113) |
| Pursat | 142,134 | 48,417 | (93,717) |
| Preah Sihanouk | 50,110 | 30,560 | (19,550) |
| Stung Treng | 33,932 | 6,962 | (26,970) |
| Kep | 14,301 | 4,165 | (10,136) |
| Pailin | 16,536 | 8,959 | (7,577) |
| Udormeanchey | 47,836 | 21,875 | (25,961) |
| Batambang | 223,536 | 162,170 | (61,366) |
| Phnom Penh | 250,974 | 381,620 | 130,646 |
| Prey Veng | 251,902 | 287,858 | 35,956 |
| Ratanakiri | 39,473 | 7,811 | (31,662) |
| Siem Reap | 101,304 | 61,495 | (39,809) |
| Svay Rieng | 183,258 | 99,609 | (83,649) |
| Takeo | 243,693 | 235,796 | (7,897) |
| | 2,555,030 | 2,295,022 | (260,008) |

Source: TVK/NEC, Provisional Results. CS-2013



党が救国党を僅差で抑える形となった。その結果を受けて、救国党のサム・ランシー代表とケム・ソッカー副代表は、無効票や選挙名簿の漏れ等を理由に結果を拒否すると共に、「CPP、CNRP、国連、選挙管理委員会とローカル NGO、外国系 NGO で構成された調査委員会を作り、厳正な調査を求める」と声明を発表した。続けて「投票者の 15% は実際に投票ができなかった。なぜなら彼らの名前は投票者名簿に記載されていなかったからだ。また 100 万人程度の実在しない人の名前もあり、20 万人の名前の重複もあった」と述べた。

また選挙直後より、野党の躍進によりフン・セン首相がカンボジアを発ったと言う噂が流れ、それを受けた CPP は、「フン・セン首相はカンボジア国内におり、首相としての任務を遂行している。これは悪意を持った心理作戦である。首相は引き続き 5 期目の首相とし続投する」との声明を発表した。後にフン・セン首相は、亡命説を否定し

「国民が苦しんでいる時に国を見捨てるわけがない。私を首相の座から降ろす動きがあるとの噂についても否定する」と述べた。



それに対し、救国党サム・ランシー党首は、「勝利したのは我々である。国民と救国党は勝ったのだ。面白い事に、人民党には支持者が 500 万人いると言われていたが、実際の得票数は 200 万程度。では残りの 300 万票はどこへ消えたのか。加えて、この 200 万人は脅しや買収、それにベトナム人だ。その一方、私たちが得た票は心からの投票であり、カネや脅迫に屈しなかった 1 票だ。更に、人民党のリーダー達(チャ・シム、ヘン・サムリン、フン・セン)は出身州で負けているのだ」と演説し、ケム・ソッカー副代表は、「今回の不正選挙の証拠を集めて、国際機関に提示しようではないか。私たちはカネで買われる事もなければ、脅迫にも屈しない。私た

ちが欲しいのは真実と公平だ」と語った。

7/31、フン・セン首相は、「自由で公正な選挙をする為、私は選挙結果の調査を受け入れる。我がカンボジア人民党は、救国党と心を開き、話し合いをする準備ができている」と述べた。選挙管理委員会が提案した調査構成員は選挙管理委員会から 5 名、人民党、救国党からそれぞれ 1 名、そしてオブザーバーとしてカンボジアの NGO の代表者を加えると言うものだったが、8/05 に救国党側は、「国連のような第三者機関を加える事を求める。調査委員会には



賛成だが、この構成員では受け入れられない」と述べた。それに対し人民党は、「これはカンボジアの問題だ。私たち与野党、市民社会は成熟している。よって国連の手助け無くしても調査は可能だ」と語り対立姿勢が深まりを見せ始めた。

解決の糸口が見えないまま、サム・ランシー党首は、娘の結婚式の為に8/07よりアメリカへ旅立った。そして16に帰国すると、空港では多くの支持者が出迎えた。その後も、プノンペンの Freedom Park では野党集会が開かれてはいるが秩序だった集会となり、大きな混乱は見られなかった。また、選挙結果については、9/08までに確定結果を発表すると選挙管理委員会はアナウンスをした。そして9/08、カンボジア選挙管理委員会より公式結果が発表された。その結果は与党 68 議席、野党 55 議席。この結果を受けて、救国党は同日午後記者会見を開き、「9/15から3日間以上、抗議のデモを行う」と公表した。

その他の選挙関係情報

•9/07、野党2万人が抗議デモ＝総選挙の不正調査要求

与野党がともに勝利を主張している7月のカンボジア下院選挙をめぐり、最大野党カンボジア救国党は9/07、首都プノンペンで抗議デモを開催、約2万人が集まった。この日のデモは、国家選挙管理委員会が8日に下院選の最終公式結果を発表するのを前に、選挙の不正を調査する独立委員会の設置を求めて救国党が呼び掛けた。

•9/08、選管、最終公式結果発表

9/08、カンボジア国家選挙管理委員会は、7/28投票の下院(定数123)選挙について、フン・セン首相率いる与党カンボジア人民党が勝利したとする最終公式結果を発表。選管によると、各党の獲得議席は人民党68、救国党55。人民党が投票日当日夜に発表した独自集計結果と同じだった。今回の総選挙をめぐっては、救国党は63議席を獲得して過半数を制したと主張するとともに、選挙で大規模な不正があったとして独立委員会による調査を要求。

•9/14、与野党が初の首脳会談＝総選挙結果めぐり

9/14、カンボジアのフン・セン首相(与党人民党副党首)と最大野党救国党のサム・ランシー党首は、首都プノンペンの王宮で会談した。7月の下院選挙の結果をめぐる政治対立の解消に向けてシハモニ国王が仲介したもので、与野党の首脳会談は選挙後初めて。

•9/15、衝突でデモ隊1人死亡

プノンペンでは9/15、反政府デモ隊と治安部隊が衝突し、デモ隊の1人が銃撃を受けて死亡した。

•9/16、与野党トップが再会談

与党人民党のフン・セン首相と最大野党救国党のサム・ランシー党首は9/16、プノンペンで14日に続いて会談した。双方は平和的解決を目指す方針で一致したものの、選挙の不正行為を調べる独立委員会の設置についての隔たりは埋まらなかった。5時間近くにわたった16日の会談で与野党双方は、暴力停止のほか、選挙改革のための仕組みを設けることなどで合意した。

以上